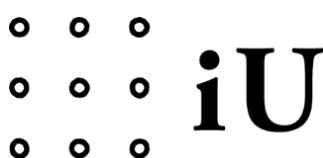


iU、TIS 株式会社から「360 度映像を活用した XR コンテンツ作成に関する研究」を受託

iU（東京都墨田区、学長 中村伊知哉、<http://www.i-u.ac.jp>）は、TIS株式会社から「360度映像を活用した XR コンテンツ作成に関する研究」を受託いたしました。360度映像の基本的な設定がどのようにコンテンツに影響を及ぼすかを実験的に評価し、知見の蓄積を試みることで、同社の観光メタバースアプリ「BURALIT」の研究開発に貢献します。



■ BURALIT について

「BURALIT」は、360 度カメラで撮影した動画や静止画をベースに作成されたバーチャル空間で、観光名所や商業施設などのスポット内をアバターで自由に回遊するバーチャル観光メタバースアプリです。

スマートフォン向けのアプリ版、パソコン向けのブラウザ版があり、幅広い環境でお楽しみいただくことができます。また、グループ機能を始めとする「BURALIT」上でのコミュニケーション機能があり、ご家族・ご友人等、特定の人と一緒に同じ空間をコミュニケーションをとりながら楽しくお過ごしいただけます。<https://buralit.com>



好きな場所を、見つけに行こう。BURALIT

■ TIS 株式会社について

TIS インテックグループの TIS は、金融、産業、公共、流通サービス分野など多様な業種 3,000 社以上のビジネスパートナーとして、お客様のあらゆる経営課題に向き合い、「成長戦略を支えるための IT」を提供しています。50 年以上にわたり培ってきた業界知識や IT 構築力で、日本・ASEAN 地域の社会・お客様と共創する IT サービスを提供し、豊かな社会の実現を目指しています。<https://www.tis.co.jp/>

■ 主な連携の内容

360 度映像（静止画・動画）を活用した XR コンテンツの作成において、より魅力的なコンテンツを得るためには、素材となる 360 度映像の取得方法や各種セッティングおよびコンテンツ内での活用方法が重要となります。本研究においては、360 度映像の基本的な設定がどのようにコンテンツに影響を及ぼすかを実験的に評価し、知見の蓄積を試みることを目的として、以下の内容を実施します。

- ・基本検討（基本方針、実験環境、評価の軸などの立案）
- ・実験環境の検討および構築
- ・実験の実施（コンテンツ試作、評価）
- ・実験結果からの考察

■ 研究代表者

iU 専任教員 片桐 雅二

<経歴>

日本電信電話株式会社に入社し、情報通信処理研究所・ヒューマンインタフェース研究所で研究に従事。その後、株式会社 NTT ドコモへ転籍。マルチメディア研究所・先進技術研究所などでは主幹研究員として、またドコモ米国研究所では上級副社長／研究室長として活躍。

2020 年 4 月より現職。

博士（情報科学）。IEEE member、情報処理学会 シニア会員、電子情報通信学会 シニア会員。



■ iU 情報経営イノベーション専門職大学について

<大学概要>

■ 大学・学部学科名

- ・大学名：「情報経営イノベーション専門職大学」 ※愛称「iU（あいゆー）」
- ・学部名：情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

■ 学長

中村伊知哉（なかむらいちや）

<職歴>

1984年、ロックバンド少年ナイフのディレクターを経て旧郵政省入省

1998年、MITメディアラボ客員教授

2002年、スタンフォード日本センター研究所長

2006年、慶應義塾大学大学院教授

2020年4月より、iU学長に就任



■ 設置概要

- ・本校舎：東京都墨田区文花1-18-13
- ・サテライトオフィス：東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝 オフィスタワー8階



左：本校舎
右：サテライトオフィス

- ・学生数：744名
- ・専任教員数：27名

■教育理念

「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。」

■基本構想

ICT×ビジネス×グローバルコミュニケーション + 全員インターンシップ×全員起業×オンライン学習

- ・ICT教育：電子学園が積み上げた基盤により、プログラミング・AI・ビッグデータなど、幅広いICTスキル教育を展開
- ・ビジネス創造教育：実務家教員によるビジネススキル教育を実施、ビジネス教養、ビジネスプラン策定力などを身につける
- ・使える英語・グローバル教育：国際舞台で仕事をするために必要な英語力を磨く教育と留学生の受け入れにより国際性も強化
- ・インターンシップとリアルプロジェクト：1人640時間のインターン、実ビジネスの中でハンズオンのリアルプロジェクト教育を実施
- ・全員起業：希望者全員に対し、在学中に起業にチャレンジできるサポート体制
- ・オンラインを活用した授業サポート：『いつでもどこからでも学ぶことができる』をキーワードに、自ら積極的に学ぶための環境の充実

■育成人材像

- ・ICTを活用する様々な業界・団体において課題を解決し、新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことのできる人材
- ・ICTを活用し新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する起業家

【本リリースに関するお問い合わせ先】

iU 情報経営イノベーション専門職大学 TEL : 03-5655-1555 E-mail : info@i-u.ac.jp